

評価結果の政策への反映状況報告書

令和8年2月20日

政策の名称	政策の目的・目標	政策評価の結果の概要	政策評価の結果の政策への反映状況
<p>インターネットによる京都御所等皇室関連施設の紹介</p>	<p>京都事務所において管理する皇室関連施設の総合的なデータベースを構築し、財産（建物や庭園の他、調度類等も含む。以下同じ。）の詳細情報を充実させ、様々な情報を「京都の御所と離宮のウェブサイト（以下、「ウェブサイト」という。）」から広く国民に紹介することで、皇室文化に対する国民の理解と関心の促進を図る。</p>	<p>(必要性) ウェブサイト公開から、約10ヶ月でアクセス件数5,274,342回、直帰率は約1割、再訪率は約3割で、ウェブサイト全体は、閲覧者が「複数のページを回遊し、リピーターも一定数存在している」という状態にあると言える。以上より、本事業は、その目的に照らして、必要性の高いものであったと言える。</p> <p>(有効性) アンケート調査の結果によると、「使いやすさ」について、「とても使いやすい」・「使いやすい」との回答が、トップページ、参観案内ページ、京都の御所と離宮の葉ページ、年報ページ、キッズページについて約6割、また、「皇室施設・皇室文化への理解」について、「とても深まった」「深まった」との回答が約9割となっている。学識経験者の意見においても、高い評価をいただくとともに、更なる充実への要望もいただいたところである。以上より、本事業は、その目的に照らして、有効性の高いものであると言える。</p> <p>(効率性) ウェブサイトの賃貸借及び保守の契約に当たっては一般競争入札を実施し、経費の節減を図った。画像や動画を用いて各財産を紹介することを主としているが、この更新についても3DやVRなどの高度な専門技術を要する撮影を除き、大半は職員が撮影、画像処理、公開処理を行い、コストをかけずに画像や動画の公開を実施している。以上より、本事業は、その目的に照らして、効率性の高いものであると言える。</p> <p>(今後の課題) アンケート調査の結果、ウェブサイトの閲覧者は若年層が少ない傾向にあることが分かった。更に学識経験者からも積極的な情報発信の必要性が指摘されていることから、今後は幅広い層への認知度向上を目指し、SNSを含めた情報発信の強化を検討する。また、アンケート調査の結果や学識経験者の意見では、更なる画像・動画公開や解説文（生育する樹木や開花状況等）の追加を求める意見が寄せられた。いただいた意見等を踏まえ、コンテンツの更なる充実を図りたい。</p>	<p>アンケート調査の結果及び学識経験者の意見を踏まえ、利用者の利便性向上のため、新たな画像997点を追加し、全体で4,268点公開している（令和8年2月13日現在）。今後も引き続き充実を図っていく。また、京都の御所と離宮の葉ページにおいて、季節の植物の開花状況や特別公開の情報等を発信し、加えて、新たなコンテンツである「VRツアー」を令和7年5月14日より開始している。</p> <p>なお、SNSを含めた情報発信の強化については、引き続き検討していく。</p>